



# **野尻哲史と考える！ 殖やした後の減らし方**

## **第18回 万一の時の支出に備える**

2026年7月31日

合同会社フィンウェル研究所

代表 野尻哲史

# 資産取り崩し期の有価証券比率は？⇒預金額から考える

## ■ 万一の時の支出をカバーするために

バッファー(緩衝材＝預金)となる資産の保有を考える

## ■ 有価証券比率を考えることでもある

金融資産全体のどれくらいを有価証券として保有するか

## ■ バッファー資産比率＋有価証券比率＝100%

バッファー資産の比率から考えることが重要

# 60代の資産運用の実例

## ■ Dさん—67歳

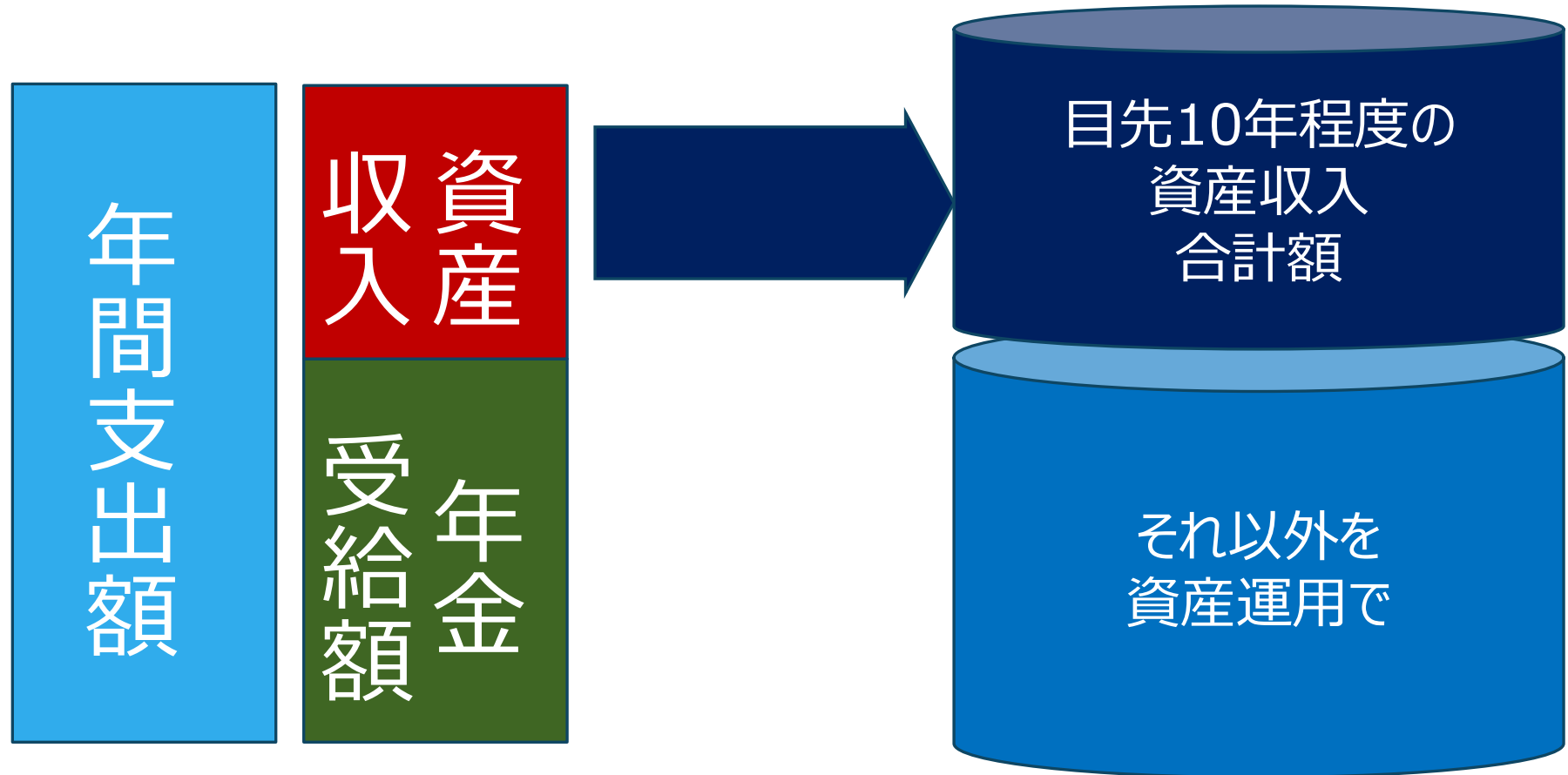
- ✓ 有価証券で資産を作り上げてきた  
金融資産3160万円（有価証券2860万円、預金300万円）  
＝有価証券比率91％＝バッファー資産比率9％
- ✓ 有価証券比率＝100歳－自分の年齢67歳＝33％？

## ■ Pさん—64歳

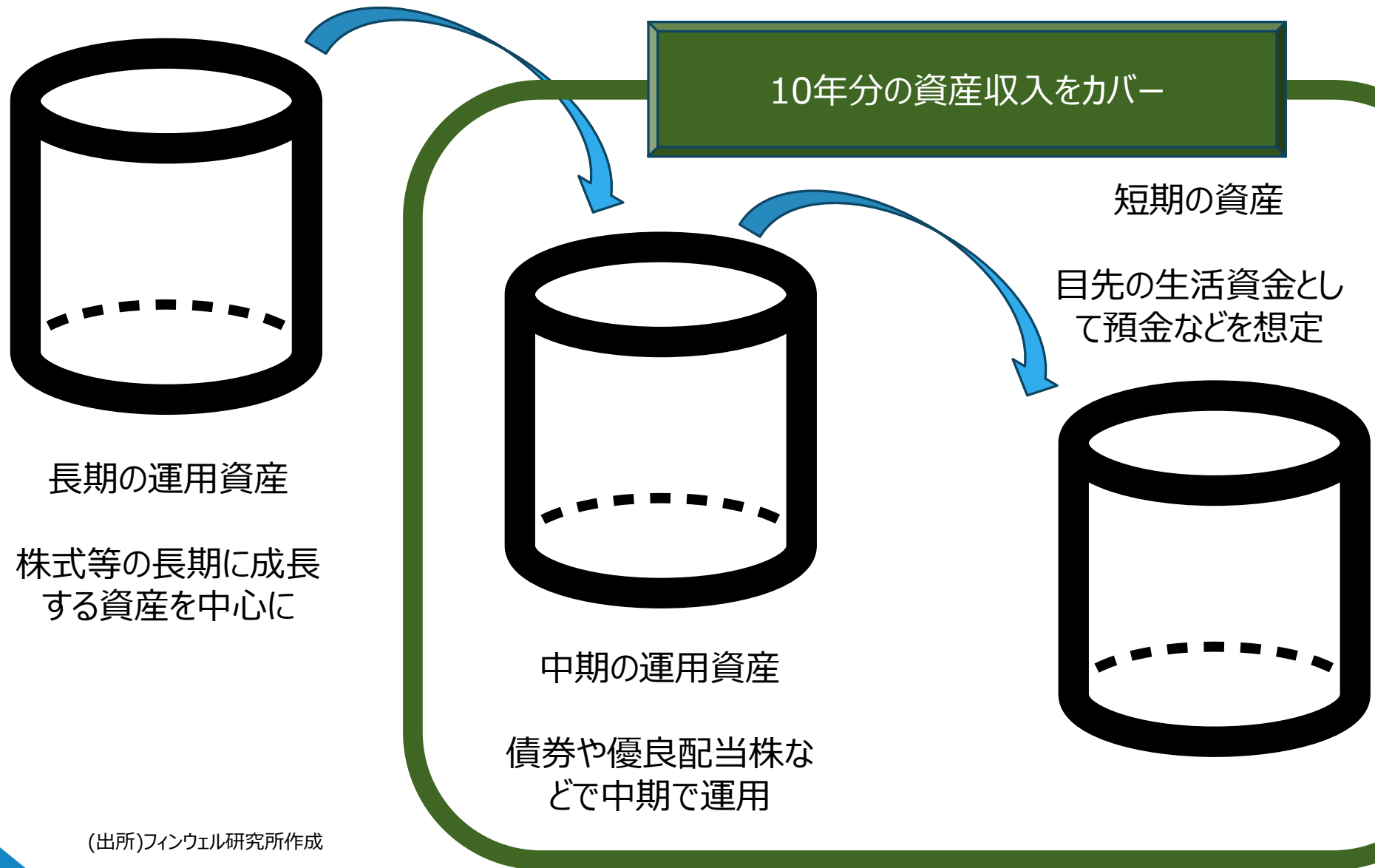
- ✓ 退職金を全額預金にしてリスクを引き下げた  
金融資産1億4500万円（有価証券4800万円、預金9700万円）  
＝有価証券比率33％＝バッファー資産比率67％
- ✓ 有価証券比率＝100歳－自分の年齢64歳＝36％？

# 有価証券比率ではなく、預金比率はどれくらい？

**10年分の資産収入額を預金として維持**



# 米国でよく使われる資産区分のアイデアを応用



(出所)フィンウェル研究所作成

# 60代の資産運用の実例

## ■ Dさん—67歳

- ✓ 有価証券で資産を作り上げてきた = 金融資産3160万円
- ✓ 有価証券比率91% = バッファ—資産比率9%
- ✓ 必要資産収入150万円の10年分 = 1500万円
- ✓ 10年分の資産収入から算出したバッファ—資産比率47%

## ■ Pさん—64歳

- ✓ 退職金を全額預金にしてリスクを引き下げた = 金融資産1億4500万円
- ✓ 有価証券比率33% = バッファ—資産比率67%
- ✓ 必要資産収入400万円の10年分 = 4000万円
- ✓ 10年分の資産収入から算出したバッファ—資産比率 = 28%

# 重要事項

- 当該資料は信頼できる情報、データをもとに合同会社フィンウェル研究所が作成しておりますが、正確性・完全性に関して当社が保証するものではありません。
- 当該資料に記載された情報、意見は作成時点のものであり、その後の情勢の変化などによって予告なく変更することがあります。
- いずれの情報、データ、意見は将来の傾向などを保証もしくは示唆するものではありません。
- 当該資料に係る一切の権利は引用部分を除いて弊社に所属し、いかなる目的であれ当該資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りします。

合同会社フィンウェル研究所